

商品づくりのご提案(みえフードイノベーション)

三重(みかさね)絆ライスローズ プロジェクト

商品づくりのご提案(みえフードイノベーション)

①三重(みかさね)絆ライスロール

【 趣旨 】

「三重(みかさね)絆ライスロール」とは、東日本大震災での風評被害に苦しむ福島の生産者を支援しようと活動する **株式会社ヨннаナプランニング**の

「福島夜明けライスバーガー」プロジェクトに共感し、三重から福島を応援するため、本県でも取り組みにあたり、商品化を推進するプロジェクトです。

三重県の特徴ある3種類の食材を使った「ライスロール」を食べることで、三重の食の魅力を実感し、その食を育む生産者の取組に思いを馳せるとともに、その収益の一部を福島でがんばっている生産者の皆さんへの支援に役立てます。



(株)ヨннаナプランニング「福島夜明けライスバーガー」プロジェクトとは、福島県いわき市で震災や原発の影響で事業継続が困難になった飲食店の復興を目指す屋台村「夜明け市場」の開設などに取り組む(株)ヨннаナプランニングが、福島産米のバンズに福島の郷土料理である大サンマのボーボー焼きを具材にしたライスバーガーを製造・販売し、福島県の生産者の支援に繋げようとする取組

商品づくりのご提案(みえフードイノベーション)

①三重(みかさね)絆ライスロール



＜三重(みかさね)絆ライスロールのコンセプト＞

三重県産の3種類の食材を組み合わせることにより、新たな三重の食の魅力や地域の特徴を再発見し、主食である米と一緒にシートでくるむことで、観光地や集客施設でも片手に持って気軽に食べ歩きができるものを想定しています。

＜三重(みかさね)絆ライスロールのルール＞

- ①食材に三重県産のものを3種類以上使用すること。
- ②必ず米を使用して、小麦粉やそば粉などで作った「シート」でくるむこと。
- ③大きさ及び形状は、片手で持って食べられるような工夫をすること。
- ④包装は、食べ歩きに適したものとし、「三重(みかさね)絆ライスロール」の趣旨を記載すること。
- ⑤収益の一部(売上げの1%程度)を福島への支援のために拠出すること。

三重(みかさね)絆ライスロールプロジェクト概要

1. プロジェクト目的

●東日本大震災での風評被害に苦しむ福島の生産者を支援する取組に共感し、三重から福島を応援するため立ち上がったプロジェクトで、三重県の特徴ある3種類以上の食材を使った「ご当地ライスロール」の開発、製造、販売、ブランディングまでを各事業者の連携により確立することで、三重の食の魅力を実感し、その食を育む生産者の取組に思いを馳せるとともに、その収益の一部を福島でがんばっている生産者の皆さんへの支援につなげる。

2. プロジェクト提案内容

- ①ライスロール市場のマーケティング調査
- ②ライスロール具材等の発掘・評価
- ③製造体制の確保
- ④商品の改良
- ⑤製造技術／輸送方法の検討
- ⑥商品パッケージの開発
- ⑦商品のブランディング

3. プロジェクト実施期間

- 平成24年11月～平成27年3月まで(3年間)

4. プロジェクト構成員

- 製造分野: 食品加工事業者、市町等
- 販売分野: 県内飲食事業者、観光事業者

5. プロジェクトスキーム

